



くまがわ



岡城址にて 撮影 宮本憲司朗
老夫婦 春高樓の 花の宴
こちらもお夫婦でお弁当を食べていました。

Contents

2P ● Drコラム

- 我が家の流行語

3P ● おせち紹介

4P ● イベント紹介

- 白熱の卓球大会
- 聖夜の前の演芸会
- 新春お茶会

5P ● イベント紹介

- ゆったり温泉と大自然を満喫
- デイクア作品

6P ● BPSDセンター

- 循環型認知症医療体制を目指して

7P ● 九州精神医療学会

理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさとお癒しの医療を提供します。

基本方針

1. 満足していただける医療を行います。
2. 快適な院内環境に努めます。
3. 専門知識の向上に努めます。

患者様の権利と義務

1. 個人として、その人格を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 良質の医療を受け、選べる権利
4. 公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
5. 安心、安全な環境で治療を受ける権利
6. 正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を十分理解するように努力する義務
7. 医療に積極的に取り組む義務
8. 快適な医療環境づくりに努力する義務

■ 我が家の流行語

医師 満崎 晃志

「こたつはダメ」。冬の我が家の流行語です。先日、急遽病院広報誌に掲載するエッセイの執筆を依頼され、お題は自由と言われたものの何も思いつきません。ネタ探しも兼ねてネットサーフィンを楽しんでいたところ「我が家の流行語大賞」というものを見つけましたが、そこには「ちゃー坊」「良い家だなあ」など部外者には意味不明な言葉が並んでいました。あまり参考になりませんでしたので、代わりに我が家の流行語を思い返してみると冒頭のフレーズが思い浮かびました。

私の家では毎年10月頃、衣替えに合わせてこたつも冬支度をします。本格稼働したこたつはすぐに我が家の日常生活を支配し始めます。朝起きて、何よりもまずこたつのスイッチを入れる。こたつで朝食を摂り、仕事がない日はそのままこたつで二度寝します。目が覚めてから昼食を摂り、膨らんだおなかをさすりながら昼寝に入ります。次に起きると外はもう暗くなってしまっているので、またこたつで夕食を摂り、入浴を済ませて就寝します。

土日は食事の準備と入浴以外ほとんどこたつから一歩も出ない生活を送ることも多く、そのような週末を送ったときは、日曜日の夕食を済ませた後こたつに入りながら、無為に過ぎ去ってしまった時間を思い起こし、家族

とこの言葉を交わします。「こたつはダメだね」「こたつはダメだ」。

意志薄弱な自分達にはこの快適な生活を変えることが出来ないと薄々気付いていながらも、改善する気持ちはあるのだと自分に言い訳をするように、言葉だけが流行していくのかもしれない。

このように冬の間支配者として我が家のリビングに君臨したこたつも、外が暖かくなるとその役目を終えます。クリーニングで一季節分の汚れを落とし、その働きをねぎらいつつ次の活躍の時が来るまで押し入れで休ませるのです。

そうして春を迎え、こたつとお別れした我が家では新しいフレーズが流行を始めます。

春の流行語は「運動しないと」。



おせち紹介

栄養科 山園 智子

今年のおせち料理はソフト食を導入したことにより、味だけでなく形ある見た目を重視して作成することができました。

きざみ食やミキサー食の患者様には何を食べているかがわかり、昨年まではミキサー食は食器に盛っていましたが、今年からは弁当箱に入れることにより、お正月のおせち料理を味わっていただけたのではないかと思います。

おせち料理



昨年までのきざみ食のおせち料理



今年のきざみ食のおせち料理



昨年までのミキサー食のおせち料理



今年のミキサー食のおせち料理

イベント紹介

● 白熱の卓球大会

平成29年11月14日 清藤 敦子

2病棟、3病棟、6病棟、外来から1チームずつ、デイケアからは2チームの参加があり、合計6チームでの団体戦を行いました。

個人戦は各病棟やデイケア、外来から16名の参加者による試合が行われました。試合では強力なサーブやスマッシュが飛びかい激しいラリー戦になるなど、応援席からの声援や拍手でさらに盛り上がりを見せ、白熱の試合が続きました。

団体戦各チームから優秀選手賞が1人ずつ選ばれ、個人戦では3位以上の選手の表彰式があ

りました。

スポーツで心身共にリフレッシュをし、チームで協力をして声を掛け合うことで、楽しいレクリエーションとなりました。



● 聖夜の前の演芸会

平成29年12月12日 岩瀬 勇貴

毎年恒例のクリスマス演芸会が今年も催されました。

サンタクロース衣装に扮した司会の挨拶から始まり、練習を積んで本番に臨んだデイケアの合唱、スタッフバンドもクリスマスをモチーフにした衣装でクリスマスソングを熱唱。ゲストのマジックショーの熟練の技や麦島婦人会の華麗な踊りに歓声が何度も沸きました。

最後に抽選会でサンタクロースから特賞のブランケットをはじめ、冬のあったかグッズ等素敵なプレゼントが届けられ、笑顔で幕を閉じました。



● 新春お茶会

平成30年1月16日 甲斐 春美

新年のすがすがしい気持ちを味わって頂く為、恒例となりましたお茶会を開催致しました。

今年、お出しした和菓子はお花をあしらった春らしいもので「お抹茶とよく合う上品な味でした。」と大好評でした。

簡易で設けたお宮参りとおみくじ引きも楽しまれ、新春より心温まる行事となったのではないかと思います。



イベント紹介

ゆったり温泉と大自然を満喫

平成29年11月17日 甲斐 春美
 デイケアメンバー32名で大野温泉に日帰りバス旅行へ行ってきました。

午前中はグランドゴルフを楽しんだり、物産店で買い物をしたり、温泉に入ったりとそれぞれの時間を楽しみました。

昼食は地元の野菜を使ったバイキングで「煮物が美味しかったです。」「自分では作らない料理ばかりでとても美味しかったです。」などの感想が聞かれました。

温泉は檜風呂で檜のいい香りがしました。山々に囲まれた大自然の中に入る温泉はまた格別で心身共に癒されました。温泉に久しぶりに入られた方もおり「温泉に入って体がホカホカして気持ち良かったです。」と笑顔もみられ、とても充実した1日となりました。



デイケア作品



デイケアでは、毎週木曜日に創作活動に取り組んでいます。

1月は新年を迎え新たな目標を目指して頑張ろうという気持ちを込めて1か月かけて扇祝い飾り作りに取り組みました。

扇から祝い飾り全て、メンバーで考えて作成しています。折り紙で作った戎さんや布袋さんなども、自分たちで試行錯誤しながら折りました。また、配色やデザインなどもイメージを膨らませながら組み合わせました。それぞれのグループの特色が出ていて、どの作品も見ごたえのある作品に仕上がりました。メンバー全員が満足感と達成感を味わうことができました。



BPSDセンター

循環型認知症医療体制を目指して

福祉相談科 宮川 博行

現在、熊本県の協力を得て、平成29年度モデル事業として八代更生病院に八代圏域「認知症BPSDセンター」を設置し、医療・介護・生活支援などの連携による認知症高齢者の容態に応じた適時・適切なサービスの提供、所謂、“循環型認知症医療体制づくり”に向け活動をしております。

これらの取り組みを進める上では、地域における連携の推進役としての認知症サポート医の先生に大きな期待が寄せられています。

このため、八代圏域におられる認知症サポート医の先生と医療・介護関係者との顔の見える関係づくりを大きな目的に、認知症サポート医の役割や活動について気軽に意見交換ができ又少しでも今後につながる取り組みを試みたく平成29年10月3日・平成30年2月20日の計2回『八代圏域認知症サポート医連絡会議』を開催いたしました。認知症サポート医の先生方及び、病院の地域医療連携室、地域包括支援センター、行政のご担当者の皆様ほかの皆様ほ

か各回50名を超えるたくさんの方にご参加いただきました。

意見交換会では参加者の皆様から、早急な対応が必要な時にどうしていくか、サポート医は具体的に何をしたらよいか等の課題やご意見を多くいただき各関係機関で抱えておられる課題を共有することができました。その課題を解消するためには連携が重要であり、八代圏域で今後も検討を深めていく必要があると感じました。また、各関係機関での地域連携の取り組みや支援体制についてお話していただき、大変参考になりました。

このモデル事業も平成29年度で終了しますが、八代圏域における認知症の医療介護を益々発展させる機会となるよう尽力していきますので、今後ともご協力、ご理解をお願いいたします。

ご参加いただいた皆様におかれましてはお忙しいところ誠にありがとうございました。



九州精神医療学会

● ストレングスマッピングシートを活用して 看護師と患者の関係性

3病棟 尾方 辰弥

今回、私はポスター発表の形式で、ストレングスマッピングシートについて「～看護師と患者の関係性～」というタイトルで看護研究に取り組み発表させていただきました。

研究に取り組んでいる時は、悩み躰き大変な思いもありましたが、上司の手厚いフォローと、多くの練習の場を用意していただいたことで、本番ではリラックスし、自信を持って発表することができました。

ストレングスマッピングシートは患者の強みに目を当て、患者と協働し目標に向かって取り組む手法です。これまで実施してきた看護よりも、患者を尊重した個別性のある看護を提供できる手応えを感じました。より良い看護を提供する為、研鑽し技術を磨いていきたいと思えます。

● 大人の発達障害患者へ構造化による支援 ～大部屋で生活したい気持ちに寄り添って～

6病棟 谷川 充

発達障害の患者様を対象に、構造化による支援を研究し、本人の希望する生活ができるように支援を行いました。

研究は大変なことも多く、途中くじけそうになることもありましたが、病棟スタッフ、心理士、先生方にも協力して頂きとても充実した研究ができました。

初めての学会で緊張しましたが、無事に発表を終えとても良い経験をすることができました。また、多くの発表を聞く中で自分とは違う様々な視点での支援の方法を知る機会となり、とても良い学びになりました。

今回の経験を活かし今後もより良い看護が提供出来る様に取り組んで行こうと思えます。

● 本人の持つ強みに着目する ～ストレングス・マッピングシートを 用いた関りから見えてきたもの～

訪問看護 犬置 のぞみ

精神科訪問看護にストレングス（強さ）を引き出すためのエンパワメントツールであるストレングス・マッピングシートを用いて関わったことで患者様自ら、自分の送りたい生活について語る事ができ、患者様・看護者の関係性も深化した症例について発表しました。

初めての発表で不安が大きかったのですが、研究を了承してくださった患者様、また院内で何度もリハーサルの場を設けて頂き、理事長先生をはじめ様々な方方のアドバイスとサポートのお蔭で無事に発表を終えることができました。

今後もこの経験を糧に患者様のより良い在宅生活に寄り添っていけたらと思えます。

● 認知症患者の食行動障害への支援 ～食事支援マニュアルを作成して～

5病棟 西村 直子

今回、宮崎で開催された第63回精神医療学会研究発表に参加させていただきました。

研究発表とすることで、本当に自分でのいいのか、最後までやり遂げることができるのかと不安感がいっぱいでした。認知症の食行動障害についての知識不足や表現力、文章能力が足りず何度も何度もやり直しを行ない、上司のサポートにより最後まで取り組むことができました。

ポスター発表に関して、理事長をはじめいろいろな方々の考えや様々な視点からの助言を頂くことで、当院ならではのポスターに仕上がることができました。

今までにない緊張感でしたが、今回の貴重な経験が自分自身へプラスとなり看護職として更に知識を深めていきたいと思えます。



外来診療 ご案内

※精神科医が
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後		予約外来					休診

診療 科目

精神科、心療内科、内科

受付 時間

新来 ▶ 午前 8:30~11:30(月~金)

再来 ▶ 午前 8:30~12:00(月~土)

午後13:30~16:00(月~金)

新来は予約制で月~金曜日の午前中のみとなります。

交通の ご案内



- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から産交バス植柳経由→「南平和町」行き、又は植柳経由→「君ヶ淵」「破木」「坂本駅」行きにお乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「迎町交差点」バス停より徒歩3分

スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、
准看護師、調理師、調理補助、
看護補助を募集しています。

委細面談

連絡は、事務長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人山田会

八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp